



ゆきのキセツのころに

“true tears” Fan Book.4 Ryu-Seki-Do Presents 2008



ゆきのキセツのころに

モクジ

- 05- 比呂美～Before Valentine's Day～
- 10- ホワイトクリスマス
- 13- 御酒奉納
- 20- 比呂美～After Valentine's Day～

まえがき

こんにちは初めまして、流ひょうごです。
さて今回の新刊は御覧のとおり「true tears」本の
第4冊目となりました。
3冊目のとき、もう一段落など言いましたがまだまだ構想するあり、
我慢できなくこうして形になったわけです。
その構想したモノの一つが冬の行事モノです。
t tの舞台設定は冬でしたが季節行事に全くふれませんでした。
これは勝手な想像ですが麦端祭りをより印象づける為に
他のモノに触れなかったのではないかと考えています。
(もちろん1クールという短さもあるでしょうが)
っということで、今回はクリスマス、正月、バレンタインを
舞台とした話です。
ではまたのちほどです



あつー愛ちゃん！

比呂美ちゃんも
チヨコ選びー！

眞一郎へのごよ



愛ちゃんも……
眞一郎くん……
だよ



なに悩んでるのーどうせ
チヨコの善し悪しなんて
分からないんだから

!!

だってほらー小さい頃からの
恒例だしー今時義理でもさー
私達ぐらいしか貰えないでしょ

あは

あはは

義理…か

そうだよね…

……はあ

学校で渡しそびれちゃった

はあ…

どうしよう
かな…

ただいま――

バレンタインでこんな
気持ちになるなんて……

!



!?



早く着替えて来なさい



!!

眞一郎く……



おかえりー眞ちゃん

寒かったですよ

こはん準備出来るわよ



もう子供じゃないのだから
考えて行動しなさい



ごめん…
用事あるから

あのさ…比呂美…



比呂美ただいま



今年はもう…貰えないか…





んっお早うー
どうした比呂美
こんな朝早くから



あのねー

これの準備して
いたんだー



クリスマスツリー
出したのか
なんか久し振りだな

おばさんと納屋の大掃除
していた時見付けてね
飾ってみようかという
事になったの

昔は眞一郎家で
よくクリスマスパーティ
したよね



クリスマス…モミの木…

聖夜か…うん

ん？……
なにか絵本の構想でも
思い付いたあー



あとで真ちゃんも
手伝ってちょうだい

おっとトイレに行く
途中だった

うーん

まったくもう絵本の事しか
考えてないわね



どうかしました

あっ困ったわ

雪用の綿が無いわ…
あっ…そうか
汚れたから処分
したんだったわ



すぐに買いに行ってください

わあー寒いと思ったら
雪が…

いつのまにか
こんなに♡

綺麗な雪景色…

暖冬みたいですから
どうかと思って
いたんですけど

この降り方だと
もう溶けることなく
積もりそうね

うふふふふ♡

なにか変ですか

ホワイトクリスマス
ですね

ううん変じゃないわ
素晴らしいわよ

でも比呂美ちゃんも
随分、真ちゃんの
影響受けてきたようね

久しぶりにツリーを出した日に
雪が降るなんて運命的で
楽しいクリスマスになりそうです

そっそんなこと
ないです

そんなこと
あるのよ

もうやですよ
おばさん

?



朋与はなに祈願したん

言ったら御利益が
無くなりそうだし
企業秘密ーね

聞かなくても
予想通りよ



ん？

仲上君のこと？

仲上酒造の
新春御酒奉納でしょ
毎年の行事じゃない

なくん違う違う
その後ろよ



なに急にー
たつくもーどうしたの

あれ見て！見て！



隠れて！



いひひひ

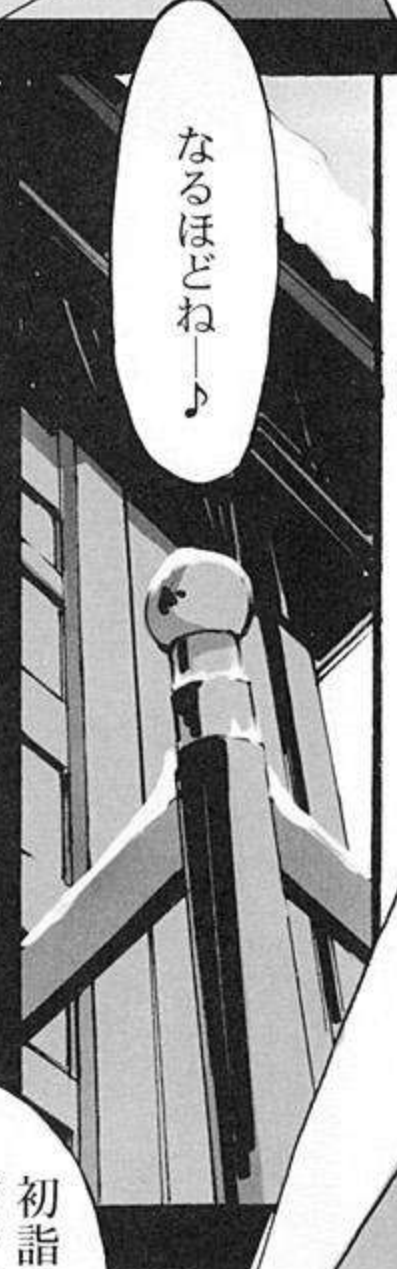


いやいや
まだまだ

仲上さんお疲れです

息子さんも立派に
なられて

比呂美さん



なるほどね



ふんふん

初詣の約束を
ドタキャンしたと
思ったらこういう事
だったわけね

みつみんなあ！



あー！
オモチヤにされるなら
もういいわよ！

報告しろよー

お幸せにー

教えたら冷やかされる
と思ったんだ

予想通りだわ

あつうー

す…すいません…

いえ…そちらは…
大丈夫ですかー

16

あなた…

あんた…



帰って来ていたんだ……
夏は帰れなかったみたいね

ああーお盆は戻れなくて
寂しい思いをさせたと
思うから

正月は戻らない
訳にはいかないから

……ごめん……なさい

またなんであんたが謝る
事はないだろ……

なに？なにが可笑しい

しかしあんた……
その格好は……

……じゃなくて……

ん……

いや……待ち合わせが
あったから……

来たみたいだ

それじゃ私も
行くわ

ああ……

じゃ、ま……

……いや
それじゃー

ん?…うん
サヨウナラ



えへへへ



なっなんだよ

なんでもない♡

着替えに帰るぞ



眞一郎くん

比呂美—どこ行って
いたんだよ







ねーねー朋与さー
そんな嘘言って
大丈夫？

大丈夫って冗談って
分かってるわよ



//
それじゃ朋与
どうするわけ

もう付き合っているのだから
もっとスペシャルじゃないと
印象に残らないわよ



だから……



いや〜そうでも
ないみたい

え……うそ……



なっなにそれ
馬鹿じゃない
そんなことする人
いるわけ無いじゃない！



恋人なんでしょ

そのくらい的事するのは
必然であり当然よ

ごめんください

あら比呂美ちゃん
こんにちわ

今日は手伝いはないし
真ちゃんの帰りも
遅いけど—どうしたの



あの…すいませんけど
ケーキを作る為にキッチンを
貸してもらおうと思って

ケーキ…バレンタインね

比呂美ちゃん
あの日^{とき}は…

そう…もうそんな時期に
なったのね…早いわ

はい？…なにか—

ううん……

……なんでもない……

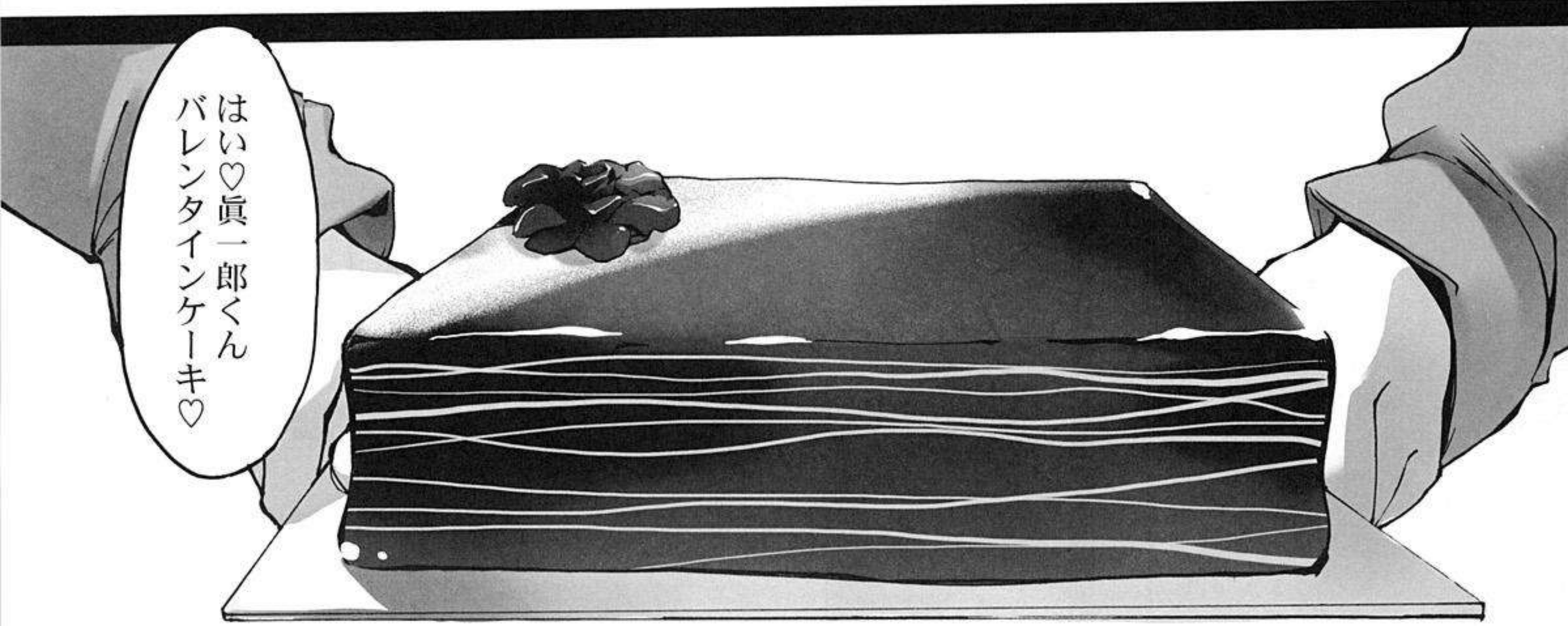


日曜日
一四日は夫と一緒に
出かけて家を空けるから

悪いけど夕食まで
真ちゃんの世話を
頼めるかしら

あ……はい

わかりました



はい♡真一郎くん
バレンタインケーキ♡





話を聞いたとき
悲しかったんだよ

いやほんと
ごめん比呂美

こんな事は
初めてだから
浮かれちゃって

してるって



いや…あれはむげに
断るのも悪いだろ

そうでしょうねー

だからな

反省してる



ではあらためて
ハッピーバレンタイン
眞一郎くん♡

でね…眞一郎くん



あの…見ても…
あきれない？



もうひとつ…
渡すモノが

あるのだけど…
どうかな…

ん、もちろん有り難く
もらうけど…なに？

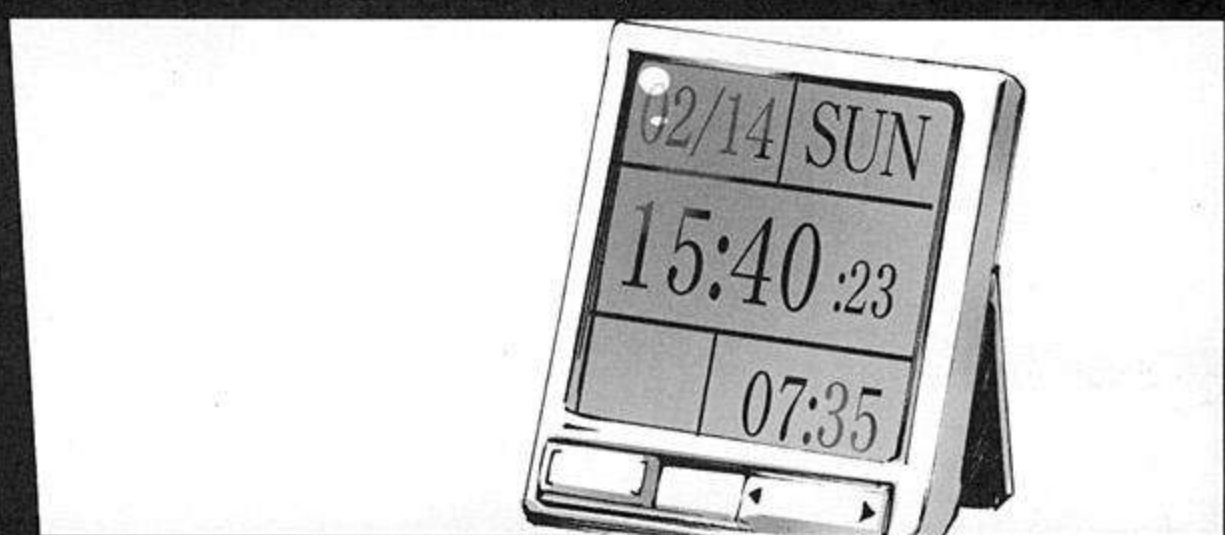
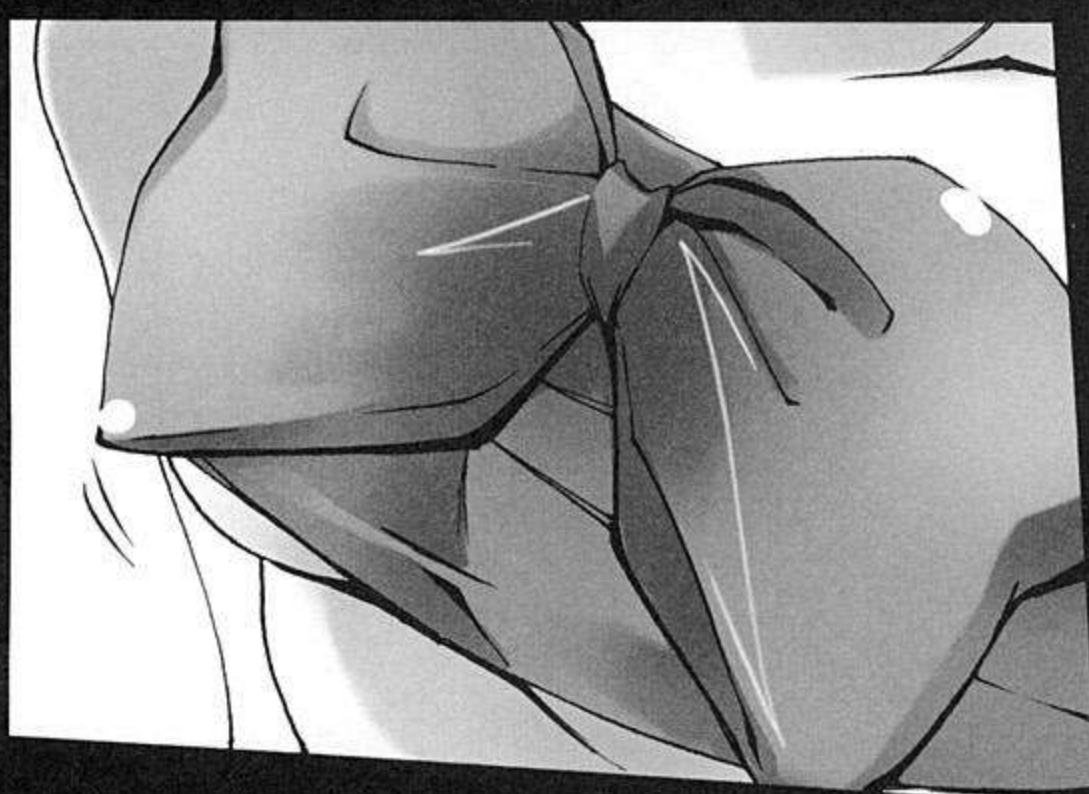


あきらめる？
比呂美がくれる物なら
嬉しく貰うよ
勿体ぶるなって

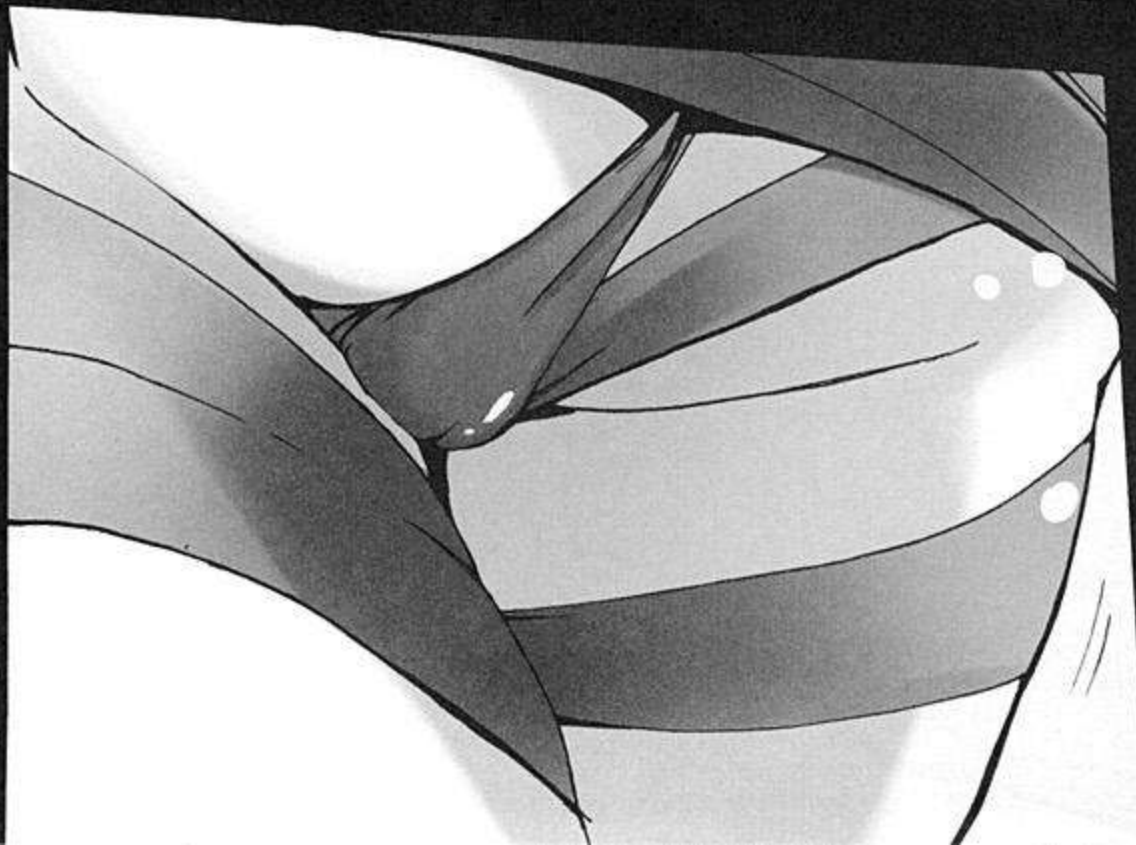


じゃ準備するから
待っていて

わかった？



02/14 SUN
15:40:23
07:35



眞一郎くん…
お待たせ…

ちよつと本当に
待ったぞ



うん…ちよっと

ひいてる？

……あの

……

……

真一郎くん——
私もた・べ。て・♡



やつぱりひかれた
朋与のバカあ——

いやちよット
だけだから
可愛いって
可愛い♡



うんとでも
似合ってるよ



……本当に？



俺の為にしてくれた事に感動してるし—新たな比呂美の可愛さを見せてもらったよ



似合ってるっていうのは…なんかイヤ

くっ……

とにかく

ビッパ



眞一郎くん……♡良かった



ああ、ひろ……

……どうしたの眞一郎くん



し……眞一郎くんになっ……になっ……

なにもないだろー

え……と……

食……べて……もら……う……って……事……は……そ……の……つ……も……り……だ……っ……た……ん……だ……ろ……ー

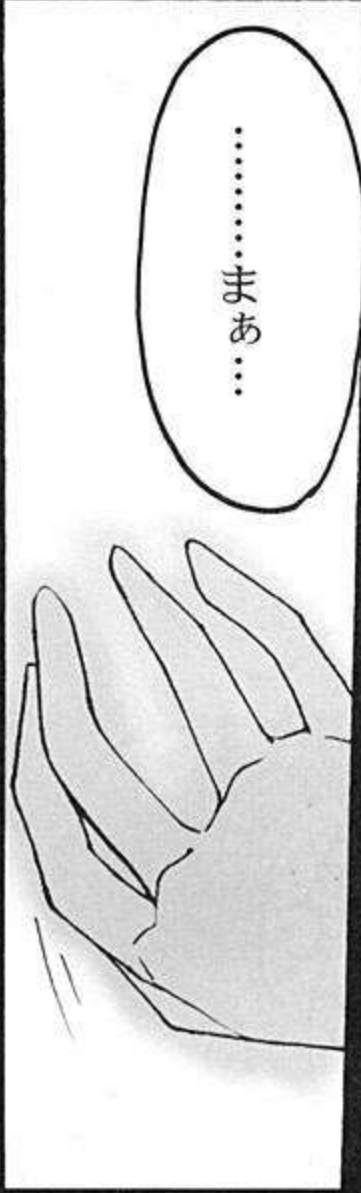


比呂美——

きゃッ



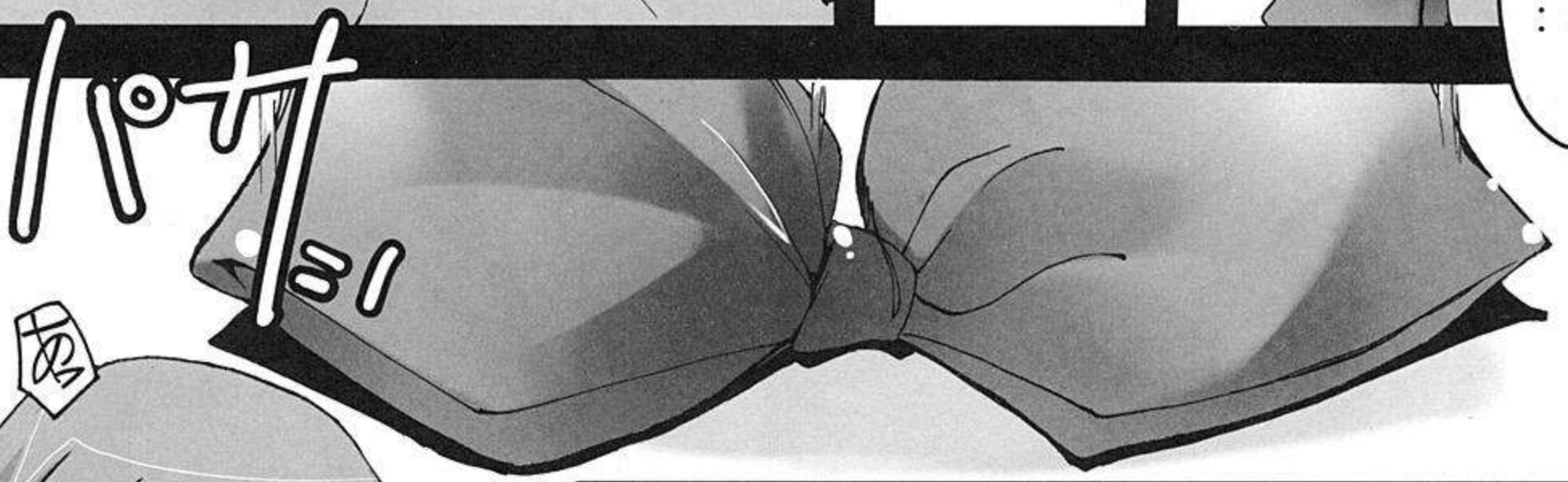
そーだけどね



……まあ……



そんな直接なの
いやだな……



急ぎすぎだつてー
リボンがまだー



ちよつと眞一郎くんー



うん

あは



でも...あやダあへんたいッぽいよ

ああ

せつかくなのだからこのままシテみようぜ



そんなすっちやー

あは

はやあ
うん



そんなあ...ことわ
ないいーわばかあ

でもいつもより興奮してるだろ

あふう



うん

あん



あは

あは
あは



あっあきやあー♡



そこおそれダメだって
いったあああ

ああ

んあ

ああん両方一緒にい
だめそれえ

いんいんいん—



あぎゆう
かた



いいきり—

うぐう

あくあ—



はあ・だめええ

…比呂美…やっぱり
すごく敏感に
なってるな

それいじよおらめえ—

いんいんいん—

あ

どきどき

この格好は恥ずかしいよ
真一郎くん……

ドキ

それに……自分から……
い……れるなんて……
初めてだし……

今日は比呂美がプレゼント
なんだからサービスして
くれないと……な

いじわるー

ドキ

ほら比呂美から
乗ってみな

ああ!

あんーあ

うんんあ

あーん

はあー入っっていくうー
しんい……ちいーくうん!

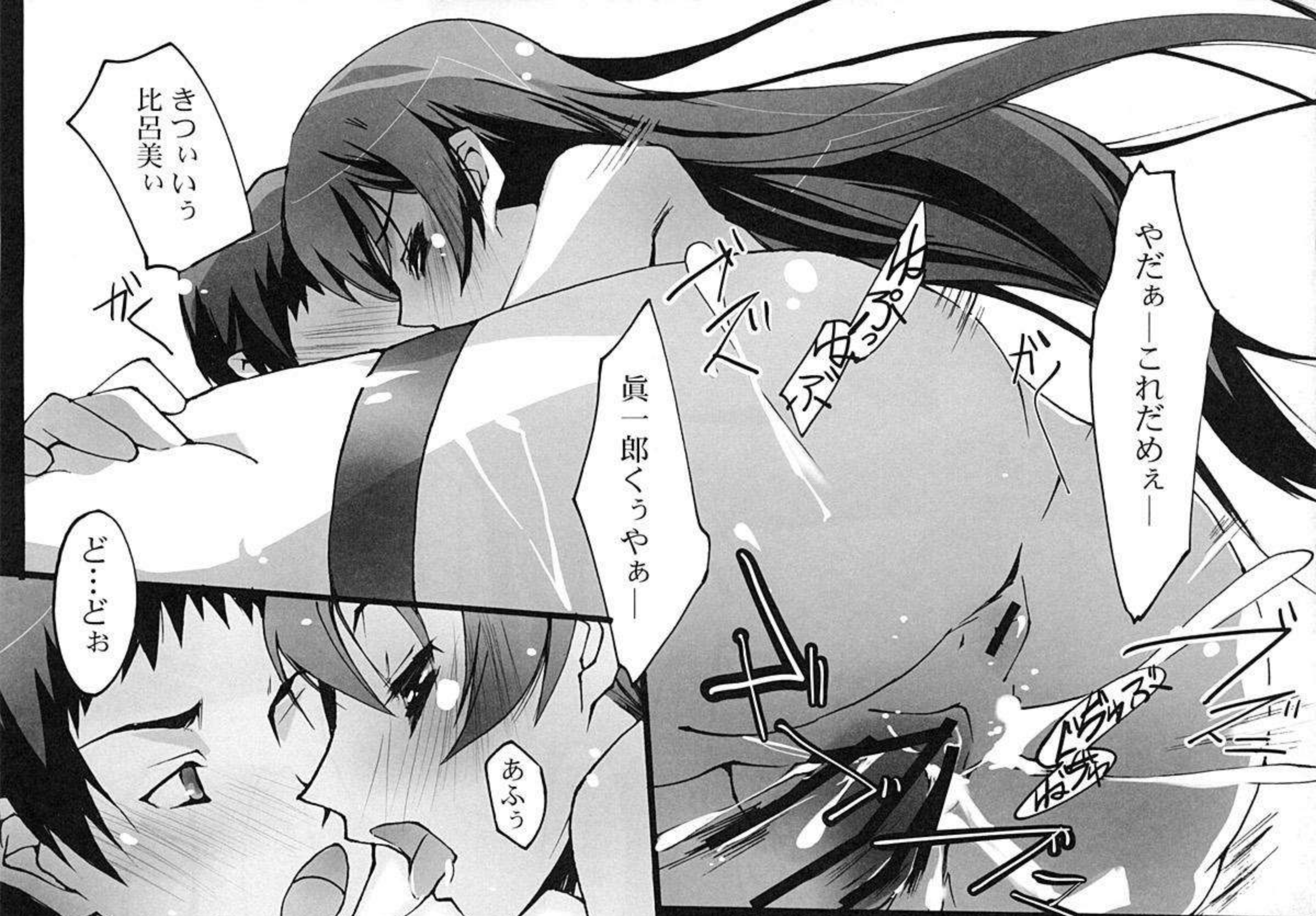
あっやあんー奥にいー
深くう入っつてえくるう

あっ

あーん

ズー

び



やだあーこれだめえー

真一郎くうやあー

きついいう
比呂美い

ど...どお

あふう



どうってえ
ふかっくってえ

あたるのーしんいちいー

あはあーいらいよ

あうんーあふあふ

にやあああ

おくをたたたくよお





あついの……
たくさん……でたあ

いっぱい——♡

なかにいよいよおー

すごいね

眞一郎くんの
かけられちゃった

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



でも本当に
こないっぱい…



大丈夫…それに
私もよかったし♡

気持ち良かったから…
ちよっとやり過ぎたか…



あ…いや…



これもダメじゃない！
朋与のバカあ！

あああ



……

……



ってね♡

ほらほらー
ホワイトチョコレート♡

あとがき

最後まで読んでいただきましてありがとうございます。

皆さんがどう感想されますかわかりませんが、前半のバレンタイン、クリスマス、正月の話は自分的には納得しています。

1本目のバレンタインは中3時で、同居し兄妹疑惑が聞かされた後です。多分、比呂美や愛ちゃんはマメですから、義理チョコという名の本命チョコをあげていたと思うんです。そんな時、兄妹疑惑を聞かされた比呂美は…です。

クリスマスは、一時は真ママの所為で嫌いになった雪をからめたイイ義親子話ですね。

正月は、家族（嫁）として仲上家の行事に参加する比呂美を描きたかったわけですが、それに純を出したのは……
舞台が神社だった為かな。もし偶然に会ったら……そんな感じでオチはないです。

さてもう一つのバレンタイン話でHパート真ママシーンまでは、まーいいですけど、肝心の後がねー。もっと真面目な内容にすべきだったかな。変なギャグで逃げて…反省です。

今回はこの辺で終わりですが、true tears本に関してこれで終わりとは言わないでおきます。
まだまだ描きたい気持ちがありますし、こんな本でも待っていただける方がいられるならば続けていきたいです。
ただ、大きなイベントでないと出しにくいかな。

次のサンクリですが、予定していたゲームが3月発売なようですのでさてさて何を描こうか。

2008年12月某日 流石堂 流ひょうご。

本家むぎや踊りは、今年に行けなかったけど、来年こそは！



ゆきのキセツのころに

発行日： 2008年 12月30日

発行： 流石堂
RYU-SEKI-DO

著者： 流ひょうご
(C) Nagare Hyo-go 2008

連絡先： E-Mail
nagare@ryu-seki.com

HOME PAGE
<http://www.ryu-seki.com>

印刷： 高山

注意： 18歳未満の購買禁
全ての媒体への無断転載
複写の禁止



ゆきのキセツのころに

true tears Fan book .4
RSD-91AP
NAGARE HYOGO 2008 winter
nagare@ryu-seki.com
<http://www.ryu-seki.com/>

Only an ADULT !!